第3講

人文科学系（3）
現代における知識人の意味

チャプター1

資料読解

生徒メモ欄

1　「知識人」という言葉がある。「誰某(それ)は最後の知識人であった」といったぐあいに，現代では「最後の文士」や「最後の傷痍(い)軍人」といった言葉とほぼ同じように，新聞の死亡欄に登場する言葉かもしれない。だがこの言葉について，われわれは正確に検討することを長らく怠ってきた。

2　一九世紀の終わりにパリでユダヤ人ドレフュス将軍の冤(えん)罪事件が問題となり，エミール・ゾラを初めとする少なからぬ作家や批評家，ジャーナリストたちが彼を弁護する論陣を張った。このとき「知識人(アンテリュクチュエル)」という言葉が考案された。もっともそれはゾラたちがみずからを呼んだのではなく，敵対する反ユダヤ勢力側が彼らを貶(おとし)めるために用いた呼称であり，きわめて強い軽蔑的なニュアンスをもっていた。雰囲気を再現してより正確に翻訳するならば，「知識野郎」とか「インテリ気取り」といった日本語の方がいいかもしれない。要するに最初から知識人は，人に馬鹿にされる少数派として出発したのである。

3　大衆はつねに多数派であり，表立って個人として意見を口にしない。彼らはただ知識人が勇気をもって発言するとき，それを安全地帯から冷笑し，足を引っ張ることしかしない。その態度は，『男はつらいよ』という国民的喜劇映画のなかで主人公の寅さんがいう科白に典型的に現われている。彼は対話の際，自分の理解を超えた言葉を相手が口にしようものなら，「てめえ，さしずめインテリだな」とすかさず半畳を入れ，対話の腰を折ってしまう。自分の無知を開き直って居並ぶ者たちを味方につけてしまい，対話相手にむかって罵(ば)倒を浴びせかけるのだ。そしてこの粗暴な戦略ゆえに，『男はつらい

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

よ』シリーズはつねに大衆的人気を獲得し，渥美清は国民的俳優となった。

4　誰も好き好んで知識人になろうとする者はいない。ただやむにやまれぬ鉄の部屋といった状況のなかで，たまたま人よりも先に目が醒めてしまった者に，思いがけずも知識人という役割が振り当てられてしまうだけである。あえていうならば，「運悪く」という形容を付けてもいい。知識人になるためには特別な才能が要求されるわけではない。それは職業でもなければ，いわんやカーストでも公式的な資格でもない。ある一人の平凡な人間を知識人たらしめるのは，ひとえに緊迫した状況とほんのわずかの勇気だけである。

5　人はいつでも知識人になることができ，いつでもそれをやめることができる。生きているかぎり永遠に知識人であり続けるということは，不可能なことだろう。というのも彼を知識人として必要としていた社会とは，刻一刻変化してゆくものであり，ある状況下にあっては知識人であった人でも，次の状況ではそうあり続けることが無意味となることがあるからである。わたしにはサルトルのような哲学者の過ちは，ここにあったように思われる。彼は世界中のあらゆる問題に対し，いつ何時でも知識人として振舞うのが自分の責務であると信じ，誠意をこめてそれを全うしようとした。強靭な意志がないとできない決意だとは思う。彼はアメリカのヴェトナム侵略に反対して街頭でビラを配り，ヴェトナムが勝利を収めると今度は過去の敵対者と組んで，ボートピープルを救えというビラを配った。だがいかにサルトルが偉大な存在であったとしても，知識人とは実のところ一時的な存在なのだ。彼はひとたび役割を終えてしまうと，無名の人々の群れのなかに静かに戻ってゆくべき人間の状態ではないかと，わたしは考えている。

6　知識人とは単に知識を持っている人間を意味しているわけではない。もしそうであるならば，魚河岸で働いている作業員も，理髪店主も，レストランの料理人も，魚と頭髪と肉の焼き方について豊かな経験と知識をもっているから知識人になってしまう。そうではなく，知識人とは，自分の専門の領域以外の知識を所有していて，それを社会のために行使する人間のことである。その意味でもっとも知識人になることが難しいのは，大学で社会科学や哲学といった人文系学問を教えることを職業としている人間だろう。彼らはそれ

生徒メモ欄

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

生徒メモ欄

を専門的知識として蓄積し，教育という労働行為の資本として活用することはできても，それを大学の塀を超えて現実に活用することがまずできないからだ。なまじ覚えた学問という枠組みが彼らをそうした行動から阻んでしまうのである。彼らの発言は専門の知識に庇護されることはあっても，その知識の背後にある秩序を相対化することがほとんどない。だから大学教授が知識人となるためには，駱駝が針の目を潜る以上の努力を重ねなければならない。

7　もう少し知識人について考えてみると，彼は完璧な理論家でもなければ，完璧な実践家でもない。むしろその中間にあって，相対立するこの二つの作業を結合させ媒介する存在である。モノを書くことと行動することの両方を，どちらに重点を置くこともなく曖昧に行なうことが大切とされる。具体的にいうならば，これまで自分に似つかわしくないと考えられたことを，面倒臭さを省みず引き受け，自分の利益にも業績にもならないことを買って出ることが肝心だということである。何もわざわざあんなことまでしなくても……と人に陰口を叩かれることこそ，知識人の条件であるかもしれない。アマチュアであることが知識人の第一条件であると，かつてエドワード・サイード［注］は語ったことがあった。専門的な知識は知識の順列と秩序を確認させるだけで，もっぱら人を抑圧する。そうした構造に風穴を開け，アンデルセンの童話の子供のように，王様は裸だと宣言するためには，人はあえて素人の立場に身を置かねばならないのだ。

8　知識人はある瞬間にあって，自分の信じえたある正義のために抗議をする。犠牲者について語り，彼らが被った不正義について人々に呼びかける。だがそれは，先にいったように，永続的なものではない。どこまでも瞬間的なものだ。それで充分であるし，人間には結局のところ，それしかできない。いつまでも正義を唱え続ける者は，必然的に党派の争いに巻き込まれてしまうだろう。党派は権力への意志であり，硬化した正義はもはや正義ではない。ソヴィエトにせよ，アフリカの新興国家にせよ，あらゆる革命や解放闘争がその後どのような悲惨や抑圧的体制を生み出したかを想起してみれば，このことは明らかである。

9　いつまでも自分が知識人であると名乗り続けることは滑稽であるし，「知識人として」といった前置きで演壇に立つことは，それ以上に愚かに思える。知識人は誰かによって自分が聖人化されそうになったとき，ただちに警戒して撤

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

退すべきだろう。というのもそれは誰かによって，ありえぬ権威として利用されるだけのことだからだ。鉄の部屋で目醒めてしまった人間は，ただ一声，大声を出すだけで充分であった。王様は裸だと叫んだ子供は，その無にして勇気のある発言だけで充分であった。知識人であるとは事件であり，事件については誰も予期することができない。ましてそれを理論化したり，職業にすることなどできない。

（四方田犬彦『人，中年に到る』より。表記等に若干変更を加えた。）

［注］　エドワード・サイード　パレスチナ生まれの批評家。著書『オリエンタリズム』他。

（2014年度　東京大学　理科Ⅲ類　後期）

生徒メモ欄

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

チャプター2

問題およびヒント

問題を見てみよう

著者によって提示された「知識人」像は，現代社会においてどのような意味をもつか，どれだけの有効性をもつか，考察しなさい(500字以内)。

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

生徒メモ欄

教員記入欄

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

解答案をつくってみよう

100

200

300

400

500

（　　　　字）

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

生徒メモ欄

教員記入欄

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

評価してみよう

答案が完成したら、以下の表を用いて自己評価をしてみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見（主張）	設問と意見との関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S	A	B	C	F
	簡潔な記述	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	段落の設定	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

生徒メモ欄

教員記入欄

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

チャプター3

答案例①

　現代において知識人は大衆化しており、社会に議論の必要性を提示するという有効性があると考える。しかし私達が公平、公正な情報を根拠に判断出来ているかは疑問である。

　情報化の進んだ現代日本では、アマチュアたる私達市民がインターネットを利用することで専門外の知識に触れ易くなった。コロナ禍において国民の8割が1回以上のワクチンを接種していることからも、多数の市民がその情報に触れ接種の是非を考えたはずである。その際安全性に疑問を持ち、社会に議論を投げかける知識人の出現には意義がある。なぜなら過去の薬害や重篤な副反応は事実であり、議論が社会に対し抑制の力を持つからである。しかし一部の人物の利益や固定化した信念のためにデマが生まれ、我々市民の判断に悪影響を与えている。私達はインターネット上で自分と似た意見や情報に繋がりやすい。その原因は、トラッキングやフィルタリング機能によるフィルターバブルである。

　防止策としてプライベートブラウズの使用もあるが、反対意見に触れる意識を有し取得情報の公平性を保ちたい。情報の収集、拡散のし易さは知識人化も容易にする。偏った思想や主義に扇動されない判断力を養いたい。

(500字)

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

生徒メモ欄

教員記入欄

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

評価してみよう

答案例①を、以下の表を用いて評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見との関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

生徒メモ欄

教員記入欄

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

チャプター4

答案例②

　筆者は、知識人とは特別な知識を持った専門家ではなく、状況を打破するために声を上げた素人であると述べている。またいつでもなることが出来、常に変化していく社会により求められる知識人も異なるため、その存在は一時的であると定義している。

　現代においてはマスメディアやＳＮＳ等の発達により、個人の発言がより多くの人の目にとまり、それが拡散し、支持され、時には非難されるようになった。このような状況から、知識人という言葉が考案された時代よりはるかに多くの知識人が存在し、そのハードルも下がっている。一つの事象が起きた際に、異なる視点を持つ多くの知識人の主張や、知識人同士の議論に触れることで自分にとって有意義な情報を得ることが容易になった。

　このように変化する社会に即座に適応し、大量の情報を提示することが現代の知識人に求められており、大衆も情報を取捨選択し自分の生活に取り込み最大限に生かしていくことができる。それが時に世論となり、社会全体を動かしていくことにも繋がると思う。社会の目まぐるしい変化において、誰一人取り残さないというＳＤＧｓの実践においても常に発信し続ける知識人の存在は有効である。

(500字)

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

生徒メモ欄

教員記入欄

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

評価してみよう

答案例②を、以下の表を用いて評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見(主張)	設問と意見との関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

生徒メモ欄

教員記入欄

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

チャプター5

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことを元に、さらにブラッシュアップするための
おすすめの書籍情報を知り、その書籍の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

生徒メモ欄

教員記入欄

©RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。